

上場会社名 株式会社リソ教育グループ
 コード番号 4714 URL <https://www.riso-kyoikugroup.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天坊 真彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長(CFO) (氏名) 久米 正明 TEL 03-5996-3701
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年2月期第1四半期 | 7,403 | 4.1 | △213 | — | △207 | — | △165 | — |
| 2026年2月期第1四半期 | 7,110 | 3.0 | △599 | — | △588 | — | △383 | — |

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 △166百万円（－％） 2026年2月期第1四半期 △366百万円（－％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年2月期第1四半期 | △0.97 | — |
| 2026年2月期第1四半期 | △2.25 | — |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年2月期第1四半期 | 20,446 | 10,396 | 50.5 |
| 2026年2月期 | 22,667 | 12,265 | 53.8 |

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 10,321百万円 2026年2月期 12,190百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年2月期 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 10.00 | 10.00 |
| 2027年2月期 | 0.00 | — | — | — | — |
| 2027年2月期（予想） | — | 0.00 | 0.00 | 10.00 | 10.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,640 | 4.1 | 2,875 | 6.3 | 2,800 | 2.5 | 1,700 | 5.2 | 9.98 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年2月期1Q | 171,806,159株 | 2026年2月期 | 171,806,159株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年2月期1Q | 1,504,569株 | 2026年2月期 | 1,504,539株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2027年2月期1Q | 170,301,599株 | 2026年2月期1Q | 170,083,380株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む一方、継続的な物価上昇に伴う消費者の節約意識の高まりなどから、個人消費の動向は一進一退の推移となりました。

学習塾業界におきましては、少子化の進行による市場競争の激化に加え、他業界の賃上げ動向に伴う優秀な講師人材の確保および採用・労務コストの上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。一方で、総合型選抜(旧AO入試)対策へのニーズ拡大を背景に、子ども一人当たりにかかる教育投資は底堅く推移しており、塾選びにおける「教育の質」や「確実な実績」を重視する傾向は一層高まっております。

こうした環境のもと、少子化を前提としたビジネスモデルである当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としております。

当社グループは、持株会社体制のメリットを最大限に活かしたグループ全体の最適化と成長戦略の加速に邁進してまいりました。業務効率化とコスト削減に向けた取り組みとして、「広告・マーケティング部」および「不動産管理部」を中心としたグループ各社の機能一元化を推し進め、広告宣伝費の最適化や拠点管理コストの抑制など、徹底した経費の効率化を図ってまいりました。さらに新設した「DX推進部」におきましては、AIの活用等を推し進め、事務作業時間の削減と、顧客満足度の最大化に取り組んでおります。

加えて、新たな収益基盤の構築と売上拡大に向けた新規事業の展開にも積極的に着手しております。「TOMAS」における映像授業「駿台Diverse」の全校舎への展開、「名門会」におけるオンライン授業「MOPS(名門会オンラインパーソナルスクール)」の展開および「スクールTOMAS」でのオンライン化と地方展開加速による事業拡大など、多様化する顧客ニーズを捉えた新サービスの提供を通じて、グループ全体の売上高のさらなる積み上げに努めております。

また、新しい子育ての拠点としてヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社と共同開発を進めている「こどもでばーと」におきましては、2025年4月に開業した「こどもでばーと中野」および「こどもでばーとたまプラーザ」が順調に稼働しており、今後の開業についても計画を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高がすべてのセグメントで前年同期を上回り、第1四半期において過去最高となりました。

費用面では、グループの広告・マーケティング部門の統一による広告宣伝費の削減、売上原価・販売費及び一般管理費の効率化により赤字幅が縮小いたしました。

以上の結果、売上高は7,403百万円(前年同期比4.1%増)、営業損失は213百万円(前年同期は営業損失599百万円)、経常損失は207百万円(前年同期は経常損失588百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は165百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失383百万円)となりました。

当社グループの経営成績は、受験後の卒業等により生徒数が変動することから、新学期スタート時期である第1四半期連結会計期間を底とし、講習会授業を実施する第2・第4四半期連結会計期間に大きく膨らむ季節的な変動要因があるため、第2・第4四半期連結会計期間と比較して、第1・第3四半期連結会計期間の収益性が低くなる傾向にあります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

①TOMAS(トーマス)[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は3,571百万円(前年同期比2.6%増)、内部売上を含むと3,602百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、メディックTOMAS池袋校(東京都)を新規開校、TOMAS大森校(東京都)、TOMAS柏校(千葉県)、TOMAS藤沢校(神奈川県)をリニューアルいたしました。

②名門会[家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は1,076百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、名門会一宮駅前校(愛知県)、MOPS南柏校(千葉県)を新規開校いたしました。

③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽'Sクラブ(しなが〜ずくらぶ)」の2つのブランドの充実を図り、売上高は1,351百万円(前年同期比2.6%増)、内部売上を含むと1,360百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は975百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は422百万円(前年同期比3.5%増)、内部売上を含むと425百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、TOMAS体操スクール吉祥寺校(東京都)を新規開校いたしました。

⑥その他の事業

売上高は6百万円(前年同期比15.1%増)、内部売上を含むと38百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、営業未収入金、前払費用、有形固定資産、敷金及び保証金の増加、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比較して2,220百万円減少し、20,446百万円となりました。

負債は、未払金、契約負債、賞与引当金、退職給付に係る負債の増加、未払法人税等、その他の流動負債(未払消費税等)、繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末と比較して351百万円減少し、10,050百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,869百万円減少し、10,396百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2026年4月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2026年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,081,131 | 4,768,852 |
| 営業未収入金 | 3,104,221 | 3,652,876 |
| 棚卸資産 | 190,128 | 191,380 |
| 前払費用 | 624,921 | 744,599 |
| その他 | 807,340 | 739,508 |
| 貸倒引当金 | △8,641 | △7,238 |
| 流動資産合計 | 12,799,102 | 10,089,980 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,599,122 | 4,713,577 |
| 減価償却累計額 | △2,256,471 | △2,317,148 |
| 建物及び構築物 (純額) | 2,342,650 | 2,396,429 |
| 工具、器具及び備品 | 2,357,128 | 2,398,343 |
| 減価償却累計額 | △1,229,818 | △1,266,758 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 1,127,310 | 1,131,585 |
| 土地 | 360,560 | 360,560 |
| 建設仮勘定 | 50,735 | 268,617 |
| その他 | 35,868 | 35,868 |
| 減価償却累計額 | △19,800 | △21,787 |
| その他 (純額) | 16,067 | 14,080 |
| 有形固定資産合計 | 3,897,323 | 4,171,272 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 593,419 | 580,472 |
| 無形固定資産合計 | 593,419 | 580,472 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 80,040 | 80,040 |
| 繰延税金資産 | 1,764,668 | 1,826,923 |
| 敷金及び保証金 | 3,227,131 | 3,386,114 |
| その他 | 305,339 | 311,632 |
| 投資その他の資産合計 | 5,377,179 | 5,604,710 |
| 固定資産合計 | 9,867,922 | 10,356,455 |
| 資産合計 | 22,667,024 | 20,446,436 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2026年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 1,296,963 | 1,552,725 |
| 未払法人税等 | 856,950 | 124,602 |
| 契約負債 | 2,551,686 | 2,861,347 |
| 賞与引当金 | 325,377 | 569,624 |
| 資産除去債務 | 39,097 | 58,252 |
| その他 | 1,103,059 | 746,049 |
| 流動負債合計 | 6,173,135 | 5,912,602 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 2,733,349 | 2,801,791 |
| 資産除去債務 | 1,357,968 | 1,332,855 |
| 繰延税金負債 | 132,827 | — |
| その他 | 3,954 | 2,876 |
| 固定負債合計 | 4,228,099 | 4,137,523 |
| 負債合計 | 10,401,235 | 10,050,125 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,590,415 | 4,590,415 |
| 資本剰余金 | 4,335,122 | 4,335,122 |
| 利益剰余金 | 3,445,604 | 1,577,399 |
| 自己株式 | △310,638 | △310,644 |
| 株主資本合計 | 12,060,504 | 10,192,293 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 退職給付に係る調整累計額 | 130,166 | 128,898 |
| その他の包括利益累計額合計 | 130,166 | 128,898 |
| 新株予約権 | 75,118 | 75,118 |
| 純資産合計 | 12,265,789 | 10,396,310 |
| 負債純資産合計 | 22,667,024 | 20,446,436 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 7,110,414 | 7,403,533 |
| 売上原価 | 5,975,182 | 6,025,955 |
| 売上総利益 | 1,135,232 | 1,377,578 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,734,448 | 1,591,332 |
| 営業損失(△) | △599,215 | △213,754 |
| 営業外収益 | | |
| 未払配当金除斥益 | 4,992 | 5,333 |
| 預託金返還益 | 3,636 | — |
| その他 | 3,026 | 1,909 |
| 営業外収益合計 | 11,655 | 7,242 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 1,104 |
| 解約違約金 | 180 | — |
| その他 | 342 | 128 |
| 営業外費用合計 | 522 | 1,233 |
| 経常損失(△) | △588,082 | △207,745 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 18 |
| ゴルフ会員権売却益 | 1,100 | — |
| 特別利益合計 | 1,100 | 18 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 8,188 | 383 |
| 減損損失 | — | 15,145 |
| 移転費用等 | 3,848 | 5,404 |
| 特別損失合計 | 12,036 | 20,933 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △599,019 | △228,660 |
| 法人税等 | △215,840 | △63,471 |
| 四半期純損失(△) | △383,178 | △165,188 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △383,178 | △165,188 |

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △383,178 | △165,188 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,482 | — |
| 退職給付に係る調整額 | 12,900 | △1,267 |
| その他の包括利益合計 | 16,383 | △1,267 |
| 四半期包括利益 | △366,795 | △166,456 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △366,795 | △166,456 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年3月1日至2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------------------|-----------|----------------|------------|---------------|----------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 学習塾事業 | 家庭教師 派遣教育事業 | 幼児教育 事業 | 学校内個別 指導事業 | 人格情操合 宿教育事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 一時点で移転 される財又は サービス | 1,388 | — | 63,486 | — | 22 | 64,898 | 5,256 | 70,154 | — | 70,154 |
| 一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス | 3,478,516 | 1,060,780 | 1,253,160 | 839,195 | 408,605 | 7,040,260 | — | 7,040,260 | — | 7,040,260 |
| 顧客との契約 から生じる収 益 | 3,479,905 | 1,060,780 | 1,316,647 | 839,195 | 408,628 | 7,105,158 | 5,256 | 7,110,414 | — | 7,110,414 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 3,479,905 | 1,060,780 | 1,316,647 | 839,195 | 408,628 | 7,105,158 | 5,256 | 7,110,414 | — | 7,110,414 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 20,823 | — | 9,693 | — | 3,003 | 33,519 | 31,199 | 64,718 | △64,718 | — |
| 計 | 3,500,728 | 1,060,780 | 1,326,340 | 839,195 | 411,631 | 7,138,677 | 36,456 | 7,175,133 | △64,718 | 7,110,414 |
| セグメント利 益又は損失 (△) | △658,616 | △21,726 | △97,841 | 59,590 | 12,088 | △706,504 | 4,811 | △701,693 | 102,477 | △599,215 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年3月1日至2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------------------|-----------|----------------|------------|---------------|----------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 学習塾事業 | 家庭教師 派遣教育事業 | 幼児教育 事業 | 学校内個別 指導事業 | 人格情操合 宿教育事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 一時点で移転 される財又は サービス | 1,645 | — | 63,171 | — | 13 | 64,830 | 6,050 | 70,880 | — | 70,880 |
| 一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス | 3,569,814 | 1,076,500 | 1,287,930 | 975,601 | 422,805 | 7,332,652 | — | 7,332,652 | — | 7,332,652 |
| 顧客との契約 から生じる収 益 | 3,571,459 | 1,076,500 | 1,351,102 | 975,601 | 422,818 | 7,397,483 | 6,050 | 7,403,533 | — | 7,403,533 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 3,571,459 | 1,076,500 | 1,351,102 | 975,601 | 422,818 | 7,397,483 | 6,050 | 7,403,533 | — | 7,403,533 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 31,493 | — | 9,176 | — | 3,000 | 43,669 | 32,079 | 75,749 | △75,749 | — |
| 計 | 3,602,953 | 1,076,500 | 1,360,278 | 975,601 | 425,818 | 7,441,152 | 38,129 | 7,479,282 | △75,749 | 7,403,533 |
| セグメント利 益又は損失 (△) | △215,236 | △95,700 | △46,966 | 95,489 | △1,223 | △263,637 | 984 | △262,652 | 48,898 | △213,754 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益又は損失の測定方法の変更)

前第3四半期連結会計期間より、持株会社体制への移行に伴い、従来「学習塾事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。

また、持株会社体制後のグループ組織体制に見合った経営管理料を各報告セグメントから受取っております。経営管理料は、各報告セグメントでは費用として計上され、セグメント利益又は損失の調整額に全社収益として計上されております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、持株会社体制に移行前であり、持株会社体制後のグループ組織体制に見合った経営管理料等を正確に算出することが実務上困難であることから、持株会社移行前の算定方法によっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 148,375千円 | 162,655千円 |